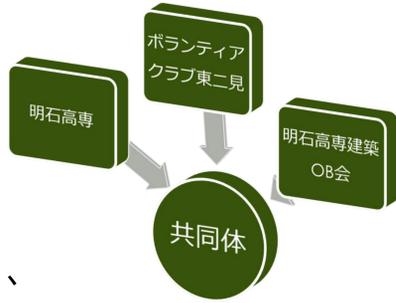


# 東二見地区減災プロジェクト

明石高専 D-PRO135°2年

## プロジェクト概要

- ・明石高専 D-PRO135°
- ・ボランティアクラブ東二見
- ・明石高専建築OB会



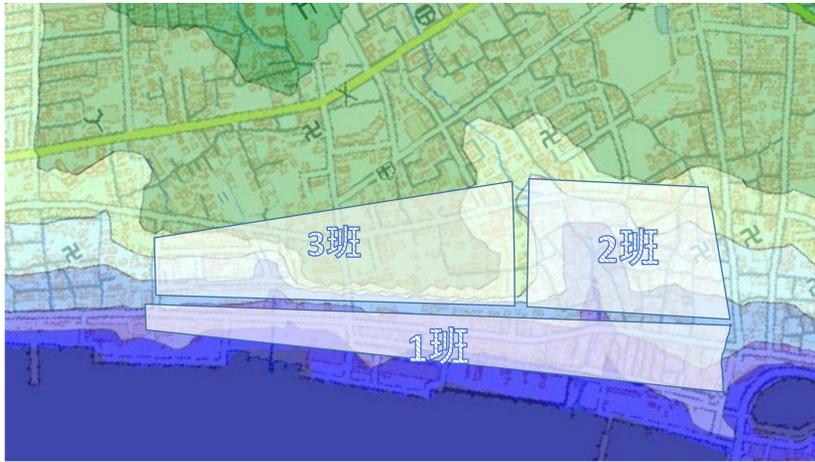
の3者による共同体が中心となり、住民主体の減災まちづくり及び災害時要援護者の避難対策等の検討を行うための取り組みを行う。

## 西乃町について

- ・古い町並みの残る風情ある漁師町
- ・高齢化，住宅の老朽化が進む
- ・特に西乃町は400件の民家が密集  
→1/3が海に近い低地に所在
- ・災害時の要援護者対策が不届きである
- ・高低差が大きく，低いところは海拔2mにもなる



## まち歩きWS in 西乃町



平成28年11月13日（日）  
西乃町自治会，高年クラブ，はまなすの会，漁協組合  
などから総勢32人が参加  
3班に分かれ町の危険箇所点検・防災資源の調査

- 1班：築70年を超える家が多く，老朽化が進む  
漁協関係の地区で70～80歳世代が集まる  
東西の広い道◎  
南北に続く道は急⇒避難時障害に
- 2班：情緒豊かな街並み⇔災害時危険  
住宅が密集し地図にない道が多い  
道が狭く災害時ふさがり可能性が高い  
→避難経路の提示は難しい
- 3班：別荘地のため敷地が広い  
軽自動車1台は通行可能  
南北に抜ける道が2本  
→避難経路が少ない



## 私たちの提案

### ハザードシートの作成

ハザードマップに基づくフローチャートを作成し  
避難時の危険箇所回避案を提示

①ハザードマップ ◇ まち歩きによる情報収集を行い作成 ◇ 個人の住まいにあわせて拡大 ◇ 段差など細かい点まで目を配り記入	②フローチャート ◇ ①に基づき各個人で作成 ◇ 避難中の危険箇所回避案の提示 ◇ どんな状況でも対応できるような 選択肢を設定する
③各種連絡先 ◇ 避難所，所属施設，親族，かかりつけの病院など	④避難準備 ◇ 発生直後に最低限すべきことの手順を示す
⑤その他必要事項	

### まち歩きを踏まえて

- 小学校まで自力で徒歩での避難は厳しい
- 災害時倒壊の危険性の高い道が多い
- 班ごとに特色が大きく違い一概に言えない



避難経路の提示は極めて困難

⇒各班・災害のレベルごとに対応を変える

## これからの課題

- 一時避難所の調査・設置
- 1班地区の避難経路の調査（どこから北上する？）
- どこまで車が入れるか正確な調査
- 空き家の正確な所在数
- 災害後、方角の目印となるもの

## 今後の予定

- 東二見減災フォーラム・避難訓練  
平成29年1月29日（日）
  - ・西乃町での避難訓練
  - ・炊き出しの実施
  - ・消火栓の使用練習
  - ・城戸史朗先生による基調講演 etc...
- ワールドカフェの開催  
平成29年2月下旬  
明石市内の他地域の皆さんと各々の減災取り組みについて話し合う